

科目名：歯科診療補助論 II-1		必	1 単位 (45 時間)
(Assisting for Dental Practice II-1)			
履修年次/時期：1 年次 前期		授業形態：演習	
主担当教員： 劉 彦君（実務経験 歯科医師 3 年：実務経験から診療補助・介助法など臨床に対応できる診療補助法が身につけられるよう授業を行って行く）			
担当教員：小堀 陽子、金子 和美			
学修目的	「歯科診療補助」は歯科衛生士の主要な業務の1つである。歯科診療補助論Ⅱ－1 およびⅡ－2 で基礎的技術を学修し、基礎的理論は歯科診療補助論Ⅲで学修する。歯科材料と器具の取り扱いについて、基礎的理論と基礎的技術を理解し、歯科診療が円滑に進められるよう診療補助・介助法を学び、臨床に対応できる診療補助法を修得する。 CP：2, 3, 4, 5, 6 に関連する。科目 No.：S1C12H27		
この科目が目的としている DP	1. 医療専門職としての倫理観を有する。	（1）生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。	
		（2）医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。	○
	2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。	（1）教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。	○
		（2）専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。	◎
		（3）社会の動向に関心をもち、学び続ける力を有する。	
	3. 口腔の健康支援を通して、全身の健康を守る高度な専門的能力を有する。	（1）多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。	○
		（2）優しさに溢れる歯科衛生士として地域社会に貢献する能力を有する。	
		（3）歯科衛生士としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。	○
◎： この講義・演習・実習と最も関連がある DP ○： この講義・演習・実習と関連がある DP			
到達目標	1. 各種材料の取り扱いを学び、歯科診療の補助・介助ができる。 2. 各種器具の取り扱いを学び、歯科診療の補助・介助ができる。		
授業概要	歯科診療の補助・介助を責任もって行う為に歯科材料および器具の取り扱いについて学ぶ。歯科診療において材料や器具の種類は数多くある。それぞれの特徴を理解し適切に取り扱いしなくては診療がスムーズに行われない。材料や器具について数回ずつ実習し、技術を修得する。		
評価方法	1. 筆記試験（80％） 2. レポート提出、ルーブリック、実習参加度、実技など（20％） 以上を総合評価し、単位認定を行う。 フィードバックの方法 筆記試験：掲示で行う レポート・実技：個別に行う		
予習・ 復習時間	【予習】0.2 時間 【復習】0.2 時間		
教科書	A：歯科衛生学シリーズ「歯科診療補助論」 松井恭平 他編 医歯薬出版株式会社 B：歯科衛生学シリーズ「歯科材料」 松井恭平 他編 医歯薬出版株式会社 C：歯科衛生学シリーズ「歯科機器」 松井恭平 他編 医歯薬出版株式会社		

参考書	臨床科目の教科書 図書館に関連図書が多く揃っているので参考にしてください。					
お問い合わせ- 連絡先	劉 彦君	月～金	16：30～17：00	3号館2階	劉研究室	ryu@kdu.ac.jp
	小堀 陽子	月～金	16：30～17：00	3号館2階	教員研究室	kobori@kdu.ac.jp
	金子 和美	月～金	16：30～17：00	3号館2階	教員研究室	@kdu.ac.jp
	＊不在時はメールにてご連絡下さい。					

実施回	授業計画	予習・復習・キーワード	担当
1・2	【アルジネート印象材取り扱い (1)】 アルジネート印象材の特徴、取り扱いについて理解し、模型作製の基本的な技術を修得する ① 印象採得の目的を説明できる ② アルジネート印象材の特徴を説明できる ③ 器具の名称、把持法を示すことができる ④ 印象材と水を適切に計量できる ⑤ 基本的な練和操作ができる ⑥ 上下全顎用トレーに印象材を適切に盛ることができる	予習：A：192～194、197～201 復習：アルジネート印象材の特徴、使用器具、練和法 キーワード：印象材、印象採得	演習 劉 ○小堀 金子
3・4	【アルジネート印象材取り扱い (2)】 アルジネート印象材の特徴、取り扱いについて理解し、模型作製の基本的な技術を修得する ①アルジネート印象材を適切に練和できる ②顎模型上で上下顎全顎の印象採得ができる ③印象面のチェックポイントを列挙できる ④嘔吐反射の強い患者への対応が説明できる	予習：A：195～201 復習：印象採得の手順、患者さんへの留意事項 キーワード：印象用トレー、印象面のチェックポイント	演習 劉 ○小堀 金子
5・6	【模型用材料取り扱い】 模型材の基本的な取り扱いを体得するとともに、硬化反応に影響する因子を理解し、より適切な取り扱いを修得する ①石膏の種類と用途が理解できる ②器具の名称・用途が理解できる ③各種石膏の混水比を理解し、水の必要量を計算することができる ④各種石膏を適切に練和できる ⑤適切な脱泡操作を工夫できる ⑥片側印象体に硬質石膏を注入できる	予習：A：214～221 B：59～64 復習：使用器具、練和法 キーワード：普通石膏、硬質石膏、超硬質石膏、混水比、脱泡、石膏注入	演習 劉 ○小堀 金子
7・8	【研究用模型作製法(1)】 模型材の基本的な取り扱いを体得するとともに、硬化反応に影響する因子を理解し、より適切な取り扱いを修得する ①石膏模型の種類と用途を説明できる ②顎模型上での上下顎全顎印象採得に習熟する ③上下顎全顎印象体に硬質石膏を注入できる	予習：A：214～221 B：59～66 復習：混水比 キーワード：普通石膏、硬質石膏、研究用模型	演習 ○劉 小堀 金子
9・10	【研究用模型作製法(2)】 模型材の基本的な取り扱いを体得するとともに、硬化反応に影響する因子を理解し、より適切な取り扱いを修得する 研究用模型を作製し、その利用法を修得する ①研究用模型の目的、種類及び保管方法を説明できる ②研究用模型作製の要点を列挙できる	習：A：214～221 B：59～66 復習：混水比 キーワード：普通石膏、研究用模型 トリーマー	演習 ○劉 小堀 金子

	③石膏模型に台付けをする ④作製上のポイントを列挙できる	予習：A：106～108 B：152,153 復習：歯肉圧排の目的と術式 キーワード：歯肉圧排、シンパッカー、歯肉圧排系	
11・12	【寒天印象材取り扱い】 寒天印象材の特徴、取り扱いを理解し、アルジネート印象材との連合印象法を修得する ①寒天印象材の特徴を説明できる ②寒天印象材（カートリッジタイプ）とアルジネート印象材の連合印象 1 回法による精密印象採得法を理解し、診療補助ができる ③寒天アルジネート連合印象体に超硬質石膏を注入できる 【歯肉圧排法】 歯肉圧排について理解し、取り扱いを修得する ①歯肉圧排の目的を説明できる ②歯肉圧排の方法を列挙し、説明できる ③器具の名称、使用方法を説明できる ④顎模型上で歯肉圧排の基本的な操作ができる	予習：A：203～204 B：48～49 復習：寒天印象材の特徴、準備、アシスタント キーワード：歯肉圧排、寒天アルジネート連合印象、寒天コンディショナー、超硬質石膏	演習 ○劉 小堀 金子
13・14	【個人トレー作製法】 個人トレーの意義を理解し、作製方法を修得する ①個人トレーの意義について説明できる ②スペーサーについて説明できる ③トレー用レジンの特徴を理解し、取り扱いができる ④各自の研究用模型を用いてレジン製個人トレーを作製できる	予習：A：209～212 B：54～55 復習：術式、作製上の留意点 キーワード：個人トレー、トレー用レジン	演習 劉 小堀 ○金子
15・16	【合成ゴム質印象材取り扱い】 合成ゴム質印象材の種類、特徴を理解し、取り扱いを修得する ①シリコンゴム印象材（パテタイプ・レギュラータイプ・インジェクションタイプ）を練和できる ②単一印象採得をスムーズに行うための補助ができる ③接着材の取り扱いを理解し、個人トレーに適切に塗布できる ④連合印象 2 回法をスムーズに行うための補助ができる ⑤スペーサーの目的および種類を列挙できる ⑥シリコンゴム印象材用シリンジの取り扱いができる	予習：A：204～210 B：49～51 復習：術式、アシスタント キーワード：精密印象採得、接着材、シリコンゴム印象材 連合印象二回法、パテタイプ、インジェクションタイプ	演習 劉 小堀 ○金子
17・18	【合着・接着用材料取り扱い】 セメントの取り扱いに習熟し、また硬化反応に影響を及ぼす因子を理解し、より適切な診療補助ができる	予習：A：222～235 B：72～89、108～112 復習：合着・接着用セメントの目的、	演習 ○劉 小堀

	①合着材・接着材の使用目的を説明できる ②種類を列挙できる ③各種セメントに応じた器材の準備ができる ④各種セメントの取り扱い説明書を読み、練和法のポイントを把握できる ⑤カルボキシレートセメント、グラスアイオノマーセメント、レジン添加型グラスアイオノマーセメント、リン酸亜鉛セメントの標準的練和ができる。	種類 キーワード：粉液比、一括練和、分割練和	金子
19・20	【仮封・仮着用材料取り扱い】 セメントの取り扱いに習熟し、また硬化反応に影響を及ぼす因子を理解し、より適切な診療補助ができる ①仮着材・仮封材の使用目的を説明できる ②種類を列挙できる ③各種セメントに応じた器材の準備ができる ④器具の名称、使用方法を説明できる ⑤各種セメントの取り扱い説明書を読み、練和法のポイントを把握できる ⑥テンボラリーセメント、テンボラリーパックの標準的練和ができる。 ⑦仮封操作ができる	予習：A：240～244 B：125～127 復習：仮着用セメントの目的、種類 キーワード：粉液比、一括練和、分割練和 予習：A：240～250 B：108～119 復習：目的、種類、特徴、患者様への助言 キーワード：仮封操作	演習 劉 ○小堀 金子